

平成29年12月14日

報 告 書

那須塩原市議会議長 君島 一郎 様

那須塩原市議会 第1班 班 長 小島 耕一
記録者 田村 正宏

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成29年11月20日（月）午後 7時00分～9時00分
2. 会 場 厚崎公民館
3. 担当議員と役割

【担当議員】

齊藤 誠之議員（進行）
吉成 伸一議員（司会）
君島 一郎議員（報告・議会）
森本 彰伸議員（報告・放射能）
田村 正宏議員（記録者）
小島 耕一議員（記録者）
鈴木 伸彦議員（記録者）
高久 好一議員（記録者）
玉野 宏 議員（記録者）

4. 参加者 市民 8人（男性6人、女性2人）...別紙受付表のとおり
5. 主な意見・要望 ... 別紙記録様式のとおり

6. 報告会の運営について

別紙「議会報告会 第1班 反省評価」のとおり

議会報告会 第1班 反省評価

平成29年12月14日

班長 小島耕一

(1) 報告会運営上の感想、反省

- ・議会報告、意見交換会の役割分担、司会進行はスムーズで順調であった。
- ・意見交換会の班構成、テーマ説明、意見交換、代表者発表の順番はよかった。
- ・参加者は意見を発表するだけにすることで、効率的な時間利用につながった。
- ・議論を始めると時間が短い傾向があった。
- ・意見交換会のテーマがやや多かったため、議論の深化が図れないところがあった。
- ・テーマはあまり多くしないほうが良い。
- ・意見交換のグループ分けが、仲間同士となったため、意見が偏る傾向があった。
- ・仲間同士のため、仲間内で話すことが見られた。意見交換の方法に関する注意事項の説明が必要であった。

(2) その他

- ・参加者数が少なかったことから、改善策が必要と考えられた。
集まりのある所へ議員が出かけて議会報告会を行う出前報告会を行ってはどうか。
議会報告会の回数を増やして、市民との交流の場を多くしたほうが良い。
議会報告会という名称は議会の状況を市民に伝えるというイメージがあり、現在の意見交換会をメインにした議会報告会を表していないことから、市民の意見を聴く会といった名称変更も検討する必要がある。
市民へアンケートをとって、様々な意見を組み込んだ意見交換会にしてはどうか。
議会報告会での意見交換会による市民の意見集約、並びに常任委員会での意見集約など、市民の意見を集約し、それを執行部に提案する活動をしてはどうか。

議会報告会報告書（別記様式） 【班報告用様式】

■第9回（平成29年11月開催）

会場 厚崎 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
定例会・臨時会 審議結果	なし	
放射能対策 検討特別委員会	なし	
全会場共通 の班テーマ （自治会活動 について） []	A 班 ① 埼玉では年間11,000円の自治会費が加入率低下の一因。 ② 加入率をアップするため、今年からコミュニティーを設立し、行事等を主導することで、未加入の市民にも自治会加入の動機づけを図っている。 ③ 厚崎・埼玉は比較的若い世代の住民も多く出入りも多いので、自治会加入に対する意識が希薄。 ④ 市役所が転入時に自治会加入を強力にアピールしてほしい。 ⑤ アパートやマンションはオーナーから自治会加入を積極的に働きかけてほしい。 ⑥ 中学生以下の子供がいる世帯は同居家族全員で自治会行事等に参加したり携わることで自治会の効能を世代間で継承していくことが大事。 ⑦ 今は葬儀も昔と違い斎場で行われ地域の繋がりが希薄化している。 B 班 ⑧ 初めて埼玉小学校のコミュニティー祭りに参加し、露店を出店するなど主体的にかかわり、小さい子とのふれあいなどを通し、自身のモチベーションの向上と地域活動の重要性を学んだ。（高校3年生） ⑨ 長年自治会長をしていた方が今回辞めることになり後任の決め方で輪番制の話が持ち上がり紛糾して困っている。自治会辞めるとの意見多数あり。 ⑩ ベテラン世代の自治会役員が幅を利かせていて、それ以下の世代との融合がなされていない体質は問題。若い世代でも責任感をもって地域のために働く気概のある人はたくさんいる、ベテラン世代との確執でそういう人が活躍できないとすれば残念。 ⑪ 自治会の加入率は決して低いとは思わない、わけもわからずに加入している人が沢山いると思う。 ⑫ 行政が市民に自治会というものを意識・理解してもらう活動が必要である。 ⑬ 自治会長という職に魅力がないから成り手がいない。 ⑭ 自治会に参加することによって、若いお母さんたちが、子供たちの成長にメリットなり必要性を感じてもらうことが重要である。 ⑮ 育成会と自治会の協力を深める必要がある。 ⑯ 自治会のベテラン世代は後継者を育てるべきである。	

全会場共通 の班テーマ (子供の居場所づくりについて)	A 班 ① 週一回子供達に太鼓の指導をしているが、そういう場を増やしてあげることが大事。郷土芸能の伝承にもつながる。 ② 他の地域との交流会などを通して、子供達同士も新たな出会いにより交友が広がり触発される。 ③ 郷土芸能の伝承は重要だが、少子化による担い手不足は否めない。必然的に地域間交流により人手不足を補っているが、子供達も発表の場が増えることによりモチベーションの向上にもつながっている。 ④ 部活動をしていない子供たちの受け皿として、郷土芸能の伝承の場を提供することは、居場所づくりの点からも意義がある。 ⑤ 昔は子供は外で遊んでいたからそこが居場所だったが、今の子供は外で遊ばないのは時代の流れとはいえ問題である。 B 班 ⑥ 独居高齢者の空き室を開放するのも有効な子供の居場所づくりになると思う。お金もかからない。 ⑦ 不登校まではいかないが予備軍的な子供が悩み事を相談できるような場所として、近所のおばちゃん的な人の家を開放したら有効だと思う。 ⑧ 自分の好きなことができるところが自分の居場所。テニスコートや友達の家。(高校生) ⑨ 今市の事件以降外で遊ばなくなった。(高校生) ⑩ 自治会で運営する公園があれば子供の有効な居場所になる。 ⑪ 問題意識の高い高校生であれば、ボランティア活動の場を居場所にできる。	
全会場共通 の班テーマ (空き家対策について)	A 班 ① 地域にも持ち主不明の空き家をはじめ何件もの空き家があり、防犯・防災上も大きな問題となっている。 ② 自治会長の責任で木とか伐採してもらいたい。 ③ 行政でスピード感を持って対応してほしい。 ④ 古民家を取得したいとのニーズは結構あるので市に仲介の労を取ってほしい。 ⑤ 市で空き家を取得し貸し出してみてもどうか。 ⑥ 解体費用や税金面で放置していた方が得なのは制度がおかしい。 B 班 ⑦ 市で空き家を買って、無償で譲渡するくらいの思い切ったことをしてみてもどうか、移住・定住に効果があると思う。	

	⑧ 若手企業家のために助成を格段に増やしてみたらいいのではないかな。 ⑨ 空き家を子供の居場所として活用できれば有効な世代間交流にもつながると思う。(高校生)	
会場ごとのテーマ 〔協働のまちづくりについて〕	A 班 ① 防犯・防火活動を地域ぐるみで推進する必要がある。 ② 朝夕の通学時の見守りの定点以外の場所への配慮も必要。埼玉では交番に依頼して巡回してもらっている。 ③ 登下校の見守りも人的資源が不足しており拠点に立つのが精一杯。 ④ 自治会の総会で議長をしているが意見や質問が全然出ないのはどうかなと思う。 B 班 ⑤ まちづくり協議会の委員をしているので、市民と行政が寄り添いそれぞれ補完しながら活動する必要性は十分認識している。ただそれを、市民や子供たちに伝え、理解してもらうことは難しい。 ⑥ 自治会活動中に行う、炊き出しとかお祭りを通じて防災につなげることは可能だと思う。 ⑦ 地域に婦人防火クラブがあるが、どんな組織でどんなことをしてきたかを理解している人はあまりいなくもったいないと思う。 ⑧ 婦人防火クラブのような制度を世代をこえて継承するような仕組みづくりが重要。 ⑨ 市民の立場からすると、市役所の職員とか市議会議員が身近な存在であることは重要だと思う。 ⑩ 自治会の美化運動は地域の方との交流の場になっており重要である。 ⑪ 皇室の方々をお迎えする際的那須塩原駅周辺の清掃活動に参加したい。そのことによって地域の方々と交流にもなる。(高校生)	

その他	A 班 ① 黒磯公園とあたご駐車場のトイレを改修してほしい。 ② 塩原地区の指定管理施設の運営費が高すぎる。 ③ 老朽施設を改修するなら立て替えてほしい。 ④ 新庁舎建設のスケジュールはどうなっているのか。 ⑤ 新庁舎の場所は焼却場跡地がよいのではないかな。 B 班 ⑥ 行政区の横の連携が希薄なので、近隣他地区との連携のサポートを行政にお願いしたい。 ⑦ 自治体幹部であるベテラン世代との見解の相違をうまく解消するためには市の協力が必要。 ⑧ 様々な行事は楽しければ人は集まると思う。今回の議会報告会も参加者が少なくてびっくりしたが、例えば、プレゼントを用意するとかが必要ではないかな。 ⑨ 議会報告会のテーマは、もっと皆が興味を持つようなものにしたい方がよい。	
------------	---	--